

別紙1-2 取り扱う暗号資産の概要

No.	記載すべき項目			留意点	BTC	XEM	MONA	BCH	ETH	ZAIF	
	大項目	中項目	小項目								
1	暗号資産の概要	名称(略称)	暗号資産の名称並びに略称を記載	・グローバルで利用されている場合には、その名称と略称を記載 ・独自通貨の場合には、個別の名称と略称を記載	ビットコイン	ネム	モナコイン	ビットコインキャッシュ	イーサリアム	Zaif トークン	
		通貨単位名称	通貨単位で利用する名称を記載	・グローバルで利用されている場合には、その単位名称 ・独自通貨の場合は個別単位名称	BTC	XEM	MONA	BCH	ETH	ZAIF	
		最低取引単位	取引単位の最低数量を数値で記載	・0.0000001BTC等	0.001BTC	0.1XEM	1MONA	0.001BCH	0.001ETH	0.1ZAIF	
		決済性：代金の弁済のために不特定の者に対して使用することができる(1号暗号資産との交換で代替可)	暗号資産で支払う事が可能な店舗	・発行者が使用可能な店舗等を管理していないか	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し	店舗等の制限無し
			その他、制限事項等	・代金の弁済のために暗号資産を使用可能な店舗等が限定されていないか	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
		売買可能性：不特定の者を相手方として購入及び売却を行うことができる事(1号暗号資産との交換で代替可)	売買可能な法定通貨の種類	・発行者による制限なく、本邦通貨又は外国通貨との売買を行うことができるか	「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ
			売買市場の有無	・本邦通貨又は外国通貨との売買が行える市場が存在するか	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	複数の取引市場が存在している	「Zaif」でのみ取り扱われている
		売買可能な最小数量	・他通貨との売買が可能な最小数量を記載	0.001BTC	0.1XEM	1MONA	0.001BCH	0.001ETH	0.1ZAIF		
		認証の仕組み	台帳形式、価値移転認証を定める暗号データ記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確認する	台帳形式、価値移転認証を定める暗号データ記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確認する	Pol (Proof of Importance) により行う。ビットコインのPoW (Proof of Work) や、イーサリアムのPoS (Proof of Stake) の弱点を補う方式。Polは、XEMの保有量と取引量、すなわち経済的重要性が高まることで報酬を獲得できるという考え方である。	ブロックチェーンのデータベースをネットワーク参加者全員(全ノード)が同一コピーを保持し、新たな記録が追加される度に全ノードのコピーが更新される仕組み。	台帳形式。価値移転認証を定める暗号データ記録者が解読し、利用者および移転内容の真正性を確認して価値移転記録台帳の記録を確認する。	複数の取引をひとかたまりのブロックとして、一定数のブロックが連続することにより、ブロックに含まれる取引を認証する。	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるプルーフオブワークによって価値移転認証が行われる)		
			「プライベートカード」やポイント・サービスにおける「ポイント」に該当しない事	・原則、該当しない	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		交換可能性：不特定の者を相手方として相互に交換を行うことができる(1号暗号資産との交換で代替可)	交換可能な暗号資産の種類/名称	・1号暗号資産との交換市場が存在するか ・暗号資産の特性	当社においては暗号資産(モナコイン、ビットコインキャッシュ、フィスココイン、カイクコイン、ネクスコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在
			その他、制限事項等	・発行者による制限なく、1号暗号資産との交換を行うことができるか	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		ネットワーク上での移転可否	パブリック/プライベートネットワークを利用した移転が可能である事	・移転可能である ・交換する場合の仕組み	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可
		通貨建て資産の適用有無	通貨建て資産ではない事	・通貨建て資産ではない根拠または説明	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし
形式	パブリック型	・発行者もしくは発行体による恣意的なコントロールが可能か	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型		
	プライベート型 コンソリウム型	・暗号資産の発行方法									
機能性	通貨以外の機能がある場合には、その詳細内容	・2号暗号資産に該当する場合、元となる暗号資産の名称を記載	該当なし	アポストイユ(Apostille)という、公証サービスの機能がある。土地や自動車所有権の登記、契約書やメールなどのタイムスタンプ記録、売上データなどを記録して、公証に用いる。	該当なし	該当なし	該当なし	スマートコントラクトにて、任意のコードを実行させることが可能。これにより、契約行為などを自動的に実行させることができる。昨今ではゲームなどにも利用されている。	該当なし		
適切性	販売方法等	・業者側が価格を決めるものではないか	【簡易売買】他の暗号資産取引所が提示した複数の売付け及び買付けの気配を基に価格を算出 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【簡易売買】他の暗号資産取引所が提示した複数の売付け及び買付けの気配を基に価格を算出 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出		
発行者の有無(ある場合に記載)	発行する事業者の開示情報	・暗号資産を発行する事業者情報の開示レベル、発行者の信用情報 ・発行者が無い場合には仕組み、利用者保護等の措置等の注意事項 ・コンソリウム型の場合、運営主体の意思決定、運営方針、パブリック型の場合でも、仕様決定・変更についての制約(オープンソースにせよ、最低限のルールはあるはず)を開示した方がよい	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし	発行事業者はなし		
	発行する事業者の信用情報								発行者：テックビューロ株式会社 プロトコル：カウンターパーティー 発行枚数：8,999,999,999ZAIF		
2	想定される用途	暗号資産を利用する際のサービス等	利用用途	・暗号資産が利用できるサービス名称 ・公共料金や物販等の利用用途の詳細を記載	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	
3	流通状況	総発行量	直近での総発行量	・時点換算での数値を記載 ・円貨での記載となるため、外貨を經由する場合には円貨になる根拠を明記 ・発行可能上限数量があればその情報、数量の増加要因 ・(協会等)3ヶ月毎に更新し、常に最新に近い状況を公表する	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：約1640万BTC ・発行可能上限：約2100万BTC ・単元当たりの価値：約30万円 ・市場での時価総額：約4.9兆円 ・海外での流通状況：国内外取引 ・主要な保有の状況：不明	(2019/1時点) ・直近総発行量：8,999,999,999XEM ・発行可能上限：8,999,999,999XEM ・単元当たりの価値：約6円 ・市場での時価総額：約54億円 ・海外での流通状況：国内外取引 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：約5145万MONA ・発行可能上限：約1億512万MONA ・単元当たりの価値：77円 ・市場での時価総額：約408億円 ・海外での流通状況：1億以上 ・主要な保有の状況：不明	(2017/8/13時点) ・直近総発行量：約1648万BCH ・発行可能上限：約2100万BCH ・単元当たりの価値：約3.6万円 ・市場での時価総額：約5500億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明	(2019/1時点) ・直近総発行量：104,378,861ETH ・発行可能上限：- ・単元当たりの価値：約14,000円 ・市場での時価総額：約1兆4,600億円 ・海外での流通状況：国内外取引 ・主要な保有の状況：不明	(2019/1時点) ・直近総発行量：8,999,999,999ZAIF ・発行可能上限：- ・単元当たりの価値：約0.15円 ・市場での時価総額：約13億5000万円 ・海外での流通状況：国内取引所で取り扱われている(Zaif取引所のみで扱われている) ・主要な保有の状況：不明	
		発行可能上限数量	発行が可能な数量の上限								
		一単元あたりの価値	直近での一単元あたりの価値								
		市場での時価総額(円貨)	直近での時価総額								
		海外での流通状況	海外の取引所で扱われている場合には、その状況等								
		主要な保有の状況	直近でのアドレス別大量保有一覧(上位20) 直近での総口座数(確認可能な場合)								
		4	プログラムの内在リスク等	不具合情報	過去に発生した不具合情報	・公開すべき不具合のレベルを決める必要あり ・該当通貨のセキュリティ監査の実施状況	・多数の記録者が暗証し、あるいは既存の記録者が有する処理能力合計よりも強力な能力を用いることにより、記録台帳が改ざんされ、また発行プログラムが改ざんされるリスクがある。 ・第三者に秘密鍵(暗号鍵)を知られた場合には、利用者になりすまして送付指示が行われるリスクがある。 ・ハードフォークにより分岐したブロックの一方が否決された場合、否決されたブロックに収録された取引は再び認証を得なければ、次の送金が行えなくなるリスクがある。さらに、記録者の目に留まらず、承認データのまま放置されるリスクがある。 ・未検出のプログラムの脆弱性やプログラム更新などにより新たに生じた脆弱性を利用し、データが改ざんされ、また価値移転の記録が異常な状態に陥る可能性がある。 ・Mt. Goxというビットコインを取り扱っていた取引所(交換所)がハッキング被害を受け、ビットコインやユーザー情報、パスワードが盗難され約1週間取引が停止されたという事件が生じている。この影響で、連鎖的に他の取引所からもビットコインの価格が暴落し下落したことがある。今後も同様の事件が生じ、それによりビットコインが盗難され、又はその価格が著しく下落するリスクがある。	当社にて現時点では確認できず	当社において現時点では確認できず	・ビットコインブロックチェーンから分岐した新たなブロックチェーン上のトークンであるため、左記のビットコインのリスクが妥当する。	当社にて現時点では確認できず
将来で発生する可能性があるリスク等											
非互換性のアップデート(予定)情報(ハードフォーク/ソフトフォーク)	過去のアップデート履歴 今後のアップデート予定			・アップデートが行われた事実並びに今後の予定について明確に記載	2013年3月11日にビットコインのバージョン0.8.0のバグにより、実質的に初めてブロックチェーンの分岐(ハードフォーク)が発生した。この問題は0.8.1へのバージョンアップによりすでに修正された。2017年8月1日にビットコインブロックチェーンから分岐した新たなブロックチェーン上のトークン(Bitcoin Cash)が生まれている。	特になし。	2017年4月にSegregated Witness (Segwit)を採用するブロックチェーン上の決まりが行われ、有効化されている。	・ビットコインにおける記載を参照のこと。	2019/1にMetropolisのConstantinople(コンスタンティノープル)が実施予定【簡単に実装できる仕組みづくりやマイニング難易度の強化などを目的】Serenity(静寂決定)にて、POWからPOSへの移行が実施される。	・カウンターパーティー上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないものと考えられている。	

別紙1-2 取り扱う暗号資産の概要

No.	記載すべき項目			XCP	FSCC	CICC	NCXC	JPYZ	
	大項目	中項目	小項目						
1	暗号資産の概要	名称(略称)	暗号資産の名称並びに略称を記載	CounterPartyトークン	フィスココイン	カイカコイン	ネクスコイン	Zen	
			通貨単位名称	通貨単位で利用する名称を記載	XCP	FSCC	CICC	NCXC	JPYZ
		最低取引単位	取引単位の最低数量を数値で記載	0.1XCP	0.1FSCC	0.1CICC	0.1NCXC	0.0001JPYZ	
		決済性：代金の弁済のために不特定の者に対して使用することができる(1号暗号資産との交換で代替可)	暗号資産で支払う事が可能な店舗	店舗等の制限無し	フィスコグループの商品及びサービスの決済に利用可能。なお、発行者において使用可能な店舗等を管理・限定しているものではなく、今後取扱いを希望する店舗等があれば誰でもこれを利用することができる(加盟店契約等による縛りはない)。	フィスコグループの商品及びサービスの決済に利用可能。なお、発行者において使用可能な店舗等を管理・限定しているものではなく、今後取扱いを希望する店舗等があれば誰でもこれを利用することができる(加盟店契約等による縛りはない)。	フィスコグループの商品及びサービスの決済に利用可能。なお、発行者において使用可能な店舗等を管理・限定しているものではなく、今後取扱いを希望する店舗等があれば誰でもこれを利用することができる(加盟店契約等による縛りはない)。	フィスコグループの商品及びサービスの決済に利用可能。なお、発行者において使用可能な店舗等を管理・限定しているものではなく、今後取扱いを希望する店舗等があれば誰でもこれを利用することができる(加盟店契約等による縛りはない)。	第1フェーズにおいて使うことができる企業はBCCO会員企業のみ ※ <a href="https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056_000012906.html">https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000056_000012906.html</a>
			その他、制限事項等	特になし	特になし	特になし	特になし	同上	
		売買可能性：不特定の者を相手方として購入及び売却を行うことができる(1号暗号資産との交換で代替可)	売買可能な法定通貨の種類	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	「Zaif」において売買可能な法定通貨は日本円(JPY)のみ	
			売買市場の有無	複数の取引市場が存在している	当社が運営している「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買取引が可能。	当社が運営している「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買取引が可能。	当社が運営している「フィスコ暗号資産取引所」及び「Zaif」において売買取引が可能。	ブロックチェーン推進協会(BCCO)会員が提供する取引所において取引可能	
		売買可能な最小数量	0.1XCP	0.1FSCC	0.1CICC	0.1NCXC	0.0001JPYZ		
		認証の仕組み	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるフルフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるフルフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるフルフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるフルフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるフルフォークによって価値移転認証が行われる)	ビットコインと同じ(ビットコインのマイナーによるフルフォークによって価値移転認証が行われる)	
			「プリペイドカード」やポイント・サービスにおける「ポイント」に該当しない事	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	
		その他、制限事項等	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし	
			交換可能性：不特定の者を相手方として相互に交換を行うことができる(1号暗号資産との交換で代替可)	交換可能な暗号資産の種類/名称	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在	1号暗号資産(ビットコイン)との交換市場が存在
		ネットワーク上での移転可否	パブリック/プライベートネットワークを利用した移転が可能である事	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	パブリックネットワークで移転可	第1フェーズにおいてはプライベートネットワークで移転可	
		通貨建て資産の適用有無	通貨建て資産ではない事	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	通貨建て資産の適用なし	
形式	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	パブリック型	第1フェーズにおいてはプライベート型			
	プライベート型 コンソーシアム型								
機能性	通貨以外の機能がある場合には、その詳細内容	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			
適切性	販売方法等	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出	【取引所取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品がフィスココイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品がカイカコイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所取引】発行者の運営する電子商取引市場で発行者の販売する商品がネクスコイン建てで購入することができる。法定通貨建てでは購入できない電子商取引市場であるため、特に対法定通貨の交換レートは表示していない。 【取引所取引】当取引所での取引価格を基に提示価格を算出予定	【取引所取引】顧客向け提示価格は、当取引所での取引価格を基に提示価格を算出			
発行者の有無(ある場合に記載)	発行する事業者の開示情報	発行事業者はなし	発行者：株式会社フィスコ(JASDAQ:3807) プロトコル：ERC20 発行枚数：5000万FSCC(ロック済み)	発行者：株式会社カイカ(JASDAQ:2315) プロトコル：ERC20 発行枚数：3億CICC(ロック済み)	発行者：株式会社ネクスグループ(JASDAQ:6634) プロトコル：ERC20 発行枚数：2000万NCXC(ロック済み)	BCCO事務局			
	発行する事業者の信用情報								
2	想定される用途	暗号資産を利用する際のサービス等	利用用途	送金、投資、ECサイトでの決済等に利用可能	送金、投資、フィスコグループの商品及びサービスの決済に利用可能 今後他社が決済利用する場合には同様に利用可能	送金、投資、フィスコグループの商品及びサービスの決済に利用可能 今後他社が決済利用する場合には同様に利用可能	送金、投資、フィスコグループの商品及びサービスの決済に利用可能 今後他社が決済利用する場合には同様に利用可能	送金、ECサイトでの決済等に利用可能となる見込み	
3	流通状況	総発行量	直近での総発行量	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：約2,615,828XCP ・発行可能上限：- ・単元当たりの価値：約210円 ・市場での時価総額：5億5000万円 ・海外での流通状況：国内外の取引所で取り扱われている ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：5000万FSCC ・発行可能上限：5000万FSCC ・単元当たりの価値：36.9円 ・市場での時価総額：約18.4億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：3億CICC ・発行可能上限：3億CICC ・単元当たりの価値：14円 ・市場での時価総額：約42億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：2000万NCXC ・発行可能上限：2000万NCXC ・単元当たりの価値：288.9円 ・市場での時価総額：約57.7億円 ・海外での流通状況：不明 ・主要な保有の状況：不明	(2017/6/22時点) ・直近総発行量：2億2千5百万ZEN ・発行可能上限：- ・単元当たりの価値：1円 ・市場での時価総額：2億2500万円 ・海外での流通状況：ブロックチェーン推進協会(BCCO)会員が提供する取引所において取引可能 ・主要な保有の状況：不明	
		発行可能上限数量	発行可能な数量の上限						
		一単元あたりの価値	直近での一単元あたりの価値						
		市場での時価総額(円貨)	直近での時価総額						
		海外での流通状況	海外の取引所で扱われている場合には、その状況等						
		主要な保有の状況	直近でのアドレス別大量保有一覧(上位20) 直近での総口座数(確認可能な場合)						
		4	プログラムの内在リスク等	不具合情報	過去に発生した不具合情報	・XCPはカウンターパーティのネイティブトークンである。 ・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、左記「カウンターパーティ」(カードコインサービス)において構築されているため、カウンターパーティのサービスに何らかの障害が発生した場合には、その影響を受けるリスクがある。 ・カウンターパーティが撤退する場合には存立しえないリスクがある。	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティ」と呼ばれるカードコインサービスにおいてフィスココインが構築されている。そのため、カウンターパーティが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合はカウンターパーティのサービスに何らかの障害が発生した場合には、そのフィスココイン自体がその影響を受け、その結果、当該フィスココインが存立しなくなるリスクや、カイカコインの取引ができなくなり又はその価値が下落するリスクがある。 ・なお、カウンターパーティのサービスは、これが発行するビットコイン上のトークン「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティ」と呼ばれるカードコインサービスにおいてカイカコインが構築されている。そのため、カウンターパーティが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合はカウンターパーティのサービスに何らかの障害が発生した場合には、そのカイカコイン自体がその影響を受け、その結果、当該カイカコインが存立しなくなるリスクや、カイカコインの取引ができなくなり又はその価値が下落するリスクがある。 ・なお、カウンターパーティのサービスは、これが発行するビットコイン上のトークン「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)	・ビットコインと同様にブロックチェーンを利用しているため、左記のビットコインのリスクが妥当する。 ・これに加えて、ビットコイン上に構築されている「カウンターパーティ」と呼ばれるカードコインサービスにおいてネクスコインが構築されている。そのため、カウンターパーティが分散型金融プラットフォーム事業から撤退する場合はカウンターパーティのサービスに何らかの障害が発生した場合には、そのネクスコイン自体がその影響を受け、その結果、当該ネクスコインが存立しなくなるリスクや、ネクスコインの取引ができなくなり又はその価値が下落するリスクがある。 ・なお、カウンターパーティのサービスは、これが発行するビットコイン上のトークン「XCP」を支払うことで、発行者が独自トークンを発行することができるサービスであり、XCPは発行の際に必要となるが、その後の流通にはXCPは無関係である(流通はビットコインのブロックチェーン上で行われる。)
非互換性のアップデート(予定)情報(ハードフォーク/ソフトフォーク)	過去のアップデート履歴 今後のアップデート予定	・カウンターパーティ上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないと考えられている。 ・フィスココインを含むカウンターパーティ上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないと考えられている。	・カイカコインを含むカウンターパーティ上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないと考えられている。	・ネクスコインを含むカウンターパーティ上のトークンは、ビットコインの分岐の影響を受けるが、ビットコインが機能する限りはトークンの価値に影響を及ぼさないと考えられている。	特になし。				

別紙1-2 取り扱う暗号資産の概要 (COMSA)

記載すべき項目			当該暗号資産の概要	
大項目	中項目	小項目		
暗号資産の概要	名称(略称)		COMSA	
	通貨单位名称・最低取引単位		10CMS以上、0.0001CMS単位	
		売買市場の有無		平成29年12月4日にZaif取引所で上場
		記録されている財産的価値		ブロックチェーン
		認証の仕組み(認証方法)		NEMおよびEthereum上で発行されるトークンにて、認証の仕組みはNEMおよびEthereumと同じ。
	発行方法		トークンセール終了時、トークンセール参加者分と同数のトークンを足した数を以って、総発行数はそこでロックされる。ビットコインのマイニングにあたるものではなく、コインの新規発行はない	
	発行者の有無(ある場合に記載)	発行する事業者の開示情報		テックビューロ株式会社
発行する事業者の信用情報				
	発行可能上限数量	平成30年11月22日時点で発行が可能な数量の上限	219,042,298.00 CMS	
	一単元あたりの価値	平成30年11月22日時点での一単元あたりの価値	1CMS(XEM)=¥6.40 1CMS(ETH)=¥6.38	
	市場での時価総額(円貨)	平成30年11月22日時点での時価総額	1,401,870,707.2円(1CMS(XEM)=¥6.40) 1,397,489,861.24円(1CMS(ETH)=¥6.38)	
	総発行量	平成30年11月22日時点での総発行量	219,042,298.00 CMS	
	総発行量のうち発行者等**の保有量***	※ 発行者等とは、発行者、当社、発行者及び当社の関係会社、これらの役員、従業員及び株主、並びに当該暗号資産の発行・運営に従事している者。以下同 ※※ 発行者等の保有分はすべて無償発行 平成29年11月30日時点	98,569,034.59 CMS	
	総発行量のうち第三者(発行者等を除く。以下、同)に無償発行した量	平成29年11月30日時点	10,952,114.85 CMS	
	総発行量のうち、販売もしくは第三者に無償発行した量	平成29年11月30日時点	120,473,263.41 CMS	
	総発行量のうち販売に供した量に対する払込総額(払込みがなされた法定通貨の額、並びに、払込みが暗号資産で行われた場合には当該暗号資産の総数及び当該暗号資産の総数を円に換算した金額)		8,712.56 BTC 65,015.14 ETH 85,848,598.10 XEM 2,867,750,191.65 ZAIF  2017年11月6日 14:00時点でのレート換算(JPY) BTC: 7,076,579,607.64 (812,227.36 JPY/1 BTC) ETH: 2,208,949,195.43 (33,975.92 JPY/1 ETH) XEM: 1,862,914,578.77 (21.7 JPY/1 XEM) ZAIF: 1,276,722,385.32 (0.4452 JPY/1 ZAIF) 合計: 12,425,165,767.16 (JPY)	
	総発行量のうち販売もしくは第三者に無償発行した量に対する払込み等の状況(払込価格が複数ある場合には、当該払込価格毎に記載)		①以下2つの期間で実施 プレセール期間: 2017年9月11日(月)14時00分~2017年9月20日(水)14時00分 トークンセール期間: 2017年10月2日(月)14時00分~2017年11月6日(月)14時00分 (プレセール及びトークンセールの他に実施のセールなし)  ②払い込み後、COMSAダッシュボードシステム内で着金が確認された時点での各暗号資産とUSDのレートを基準に1USD=1CMSとして算出  ③④別添資料(1)参照  ⑤販売もしくは第三者に無償発行した量に対する譲渡制限なし	
	①払込期間			
②払込みがなされる1COMSA当たりの価格				
③払込の総額(払込みがなされた法定通貨の額、並びに、払込みが暗号資産で行われた場合には当該暗号資産の総数及び当該暗号資産の総数を円に換算した金額)				
④当該発行暗号資産の付与数				
⑤譲渡に制限等がある場合、その内容				
プログラムの内在リスク等	不具合情報	過去に発生した不具合情報	当社にて現時点では確認できず	
		将来で発生する可能性があるリスク等		
	非互換性のアップデート(予定)情報(ハードフォーク/ソフトフォーク)	過去のアップデート履歴	特になし。	
今後のアップデート予定				